

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年7月24日（17：00～17：30）

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー 日高, 大竹, 花島, 玉井, 吉村, 上園, 奥村, サトウ
保坂, 屋上, 樋口, 松本, 仙洞田, 小倉, 浅野, 荘司, 三森

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	9人	8人	0人	0人	17人

前回の改善計画
ミーティングや申し送りでの情報共有の他、支援の中で得た情報はラインワークを活用して即時、職員間での情報共有を行ない慣れていない時期の支援に役立てサービスを提供していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
新規利用者の開始時期が数名重なり情報が混在したり、情報量が多かったり急な変更など、申し送りやLINEWORKSでの発信の他にも職員間で声を掛け合い情報共有し関わりの統一ができています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	6	11	0	0	17
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	11	6	0	0	17
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	11	6	0	0	17
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	8	9	0	0	17

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用開始前に本人情報やニーズはミーティングやLINEWORKSを通じて情報共有し、本人や家族の意向に沿った必要な支援ができています。利用者が慣れていない時期には声掛けを多くし関係づくりに努め家族には、電話やメールでも対応して不安解消に向けて取り組んでいます。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
チームとしての情報共有を進めながら、職員ひとり一人が利用者個々の目に見えない感情の微妙な動きや、表情からは分らなかった相手の感情などを察し、相手の心の中で揺れ動いた感情を知り心の機微に触れ、チーム全体として些細な変化にも気づけるようになっていくことが必要。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
本人の様子や家族からの意見、感情・物事の変化等を敏感に悟り支援の中で得た情報をブルーオーシャンに記録し、必要な情報をいち早くLINEWORKSで共有し初期・日々の支援に役立てる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年8月25日(16:30~17:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 日高, 大竹, 花島, 玉井, 吉村, 上園, 奥村, サトウ
保坂, 屋上, 樋口, 松本, 仙洞田, 小倉, 浅野, 荘司, 三森

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	9人	8人	0人	0人	17人

前回の改善計画	職員が同じ統一したケアで行えるように発信した情報に質問があれば職員間で確認しチームとして補う。
前回の改善計画に対する取組み結果	LINWORKS やミーティングを通して情報を共有し、職員間で声を掛け合っ内容を確認して統一したケアを行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	10	7	0	0	17
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	10	7	0	0	17
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	8	9	0	0	17
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	8	9	0	0	17

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 本人、家族からの情報や支援の中で得た情報、実践した内容は報告し計画作成を中心に次の対応に活かし本人の目標に向けた支援ができている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること チームとしては本人の目標を把握しそれを目指した日々のかかわりを実施していますが、職員全員が利用者全員のケアプラン・目標を確認はできていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 本人の目標を各職員が把握し支援の中で得た情報はブルーオーシャンに記録し、必要な内容はLINWORKで情報共有して目標を目指した関わりを行なう。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年8月25日(17:00~17:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 日高, 大竹, 花島, 玉井, 吉村, 上園, 奥村, サトウ
保坂, 屋上, 樋口, 松本, 仙洞田, 小倉, 浅野, 荘司, 三森

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7人	10人	0人	0人	17人

前回の改善計画	担当者や関わった職員が得た情報を発信し、以前の暮らし方や本人の声にならない声を言語化したものをチーム全体で共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	関わった職員が得た情報や計画作成からの情報はブルーオーシャン・LINEWORK、ミーティングを通して情報発信して以前の暮らし方や本人の声にならない声を言語化しチーム全体で共有できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	6	9	2	0	17
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	10	7	0	0	17
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3	14	0	0	17
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	9	8	0	0	17
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	11	6	0	0	17

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 本人の気持ちや体調変化はその都度共有し、即時に状態に合わせた支援ができている。 ADLカードを活用し、本人の状態に合わせた基礎的な介護出来ており支援の中で得た情報は詳細な気づきも報告し、職員一人一人が利用者の声にならない声の言語化に努めている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 以前の暮らし方の情報収集は行っているが、現在の状態把握や支援が先になりチーム全体で情報共有に至っていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 本人の様子や以前の暮らし方など、支援の中で得た情報はブルーオーシャンに記録し整理した情報をLINEWORKで発信してチームで情報共有する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年9月30日(16:30~17:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 日高, 大竹, 花島, 玉井, 吉村, 上園, 奥村, サトウ
保坂, 屋上, 樋口, 松本, 仙洞田, 小倉, 東條, 荘司, 三森

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	11人	0人	0人	17人

前回の改善計画
支援の中でご家族や地域の方とコミュニケーションをとり、その中で得た情報はラインワークや各ファイルで情報共有して生活スタイルや地域資源を把握する。

前回の改善計画に対する取組み結果
送迎時など支援の中でご家族や地域の方とコミュニケーションを取り、情報収集し、得た情報は申し送りで伝達したり、B0に記録している。その中で必要な情報はLINEWORKSや各ファイルで発信し、職員間で情報共有して、生活スタイルや地域資源の把握をしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	5	12	0	0	17
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	4	13	0	0	17
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	4	12	1	0	17
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	5	12	0	0	17

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
手帳等を活用して本人や家族から自宅での状況や生活スタイル、周囲の方々の事を把握し、これまでの生活スタイル・人間関係を理解している。本人と家族・介護者や地域との関係が切れないように馴染みの方々の関わりや地域資源を活用し、地域資源を活用し支援につながられている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
独居の利用者など、自宅で過ごされている時間の情報が把握しにくく、事業所が直接に接していない時間帯の情報が収集しにくくなっている。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
事業所の生活スタイルや事業所が接していない時間の過ごし方を理解するために、支援に入った時の状況確認や聞き取りの情報をLINEWORKSに入力し、職員間で多職種会議及び小規模会議等で共有し適切な支援につなげる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年9月30日(17:00~17:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 日高, 大竹, 花島, 玉井, 吉村, 上園, 奥村, サトウ, 保坂, 屋上, 樋口, 松本, 仙洞田, 小倉, 東條, 荘司, 三森

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	7人	10人	0人	0人	17人

前回の改善計画	多職種協働会議・担当者会議を行ない、様々な職種とご本人・ご家族との意見交換を行なっていき、ご本人の状態に合った柔軟な支援提供につなげていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	随時要望の収集、意見交換を行って支援や業務を見直し、本人の状態や意向に合わせた柔軟な支援に繋げる事ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	5	12	0	0	17
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	8	8	1	0	17
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	8	9	0	0	17
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	8	9	0	0	17

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
日々の関わりの中で利用者の変化など気付いた事は報告し、ブルーオーシャンやLINEWORKSを活用して情報共有して状態やニーズに合わせた必要な支援ができている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
泊まり利用者について、関わる他職種に必用な申し送りは行っているが、細かい情報までは伝えられていない事がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者の変化を見逃さないように、常時観察の視点を持ち、積極的に地域資源との関わりを持ち、多職種からの意見を収集していくと共に、他部署との連携を事業所間会議などを活用して取ながら柔軟な支援につなげていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 10 月 23 日 (16 : 30~17 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 日高, 大竹, 花島, 玉井, 吉村, 上園, 奥村, サトウ
保坂, 屋上, 樋口, 松本, 仙洞田, 小倉, 荘司, 三森

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	11 人	0 人	0 人	16 人

前回の改善計画	地域の方々と共に地域イベントや施設の企画内容を充実させる。 自治体やその他サービス機関との会議の情報は担当者から発信されたものを確認する共に外部の会議等にも参加機会をもっていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ禍であるが、感染症対策を講じながら、可能な範囲で施設の企画を行ない地域の方々にご協力を頂いたり連絡をとりあっている。自治体やその他サービス機関との会議の情報は担当者から発信されたものを確認し情報共有できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	4	12	0	0	16
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	4	12	0	0	16
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	3	12	1	0	16
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	4	12	0	0	16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること コロナ禍でも、オンラインや書面等でその他サービス機関との会議ややり取りを行っている。 地域住民やボランティアなど直接接するイベントや交流は控えているが、必要な時には連絡をとり関係が途切れないようコミュニケーションをとっている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 社会状況が良くなり、イベント等を再開できるようになった際に、滞りなく新しい生活様式を踏まえた形で行なえる為の準備が不十分である。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 感染症対策をとりながら、コロナ禍でも可能な企画を地域の方々と共に作り、イベント再開の準備を行っていく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 10 月 23 日 (17 : 00～17 : 30)

7. 運営

メンバー 日高, 大竹, 花島, 玉井, 吉村, 上園, 奥村, サトウ
保坂, 屋上, 樋口, 松本, 仙洞田, 小倉, 荘司, 三森

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6 人	10 人	0 人	0 人	16 人

前回の改善計画
①ユニット会議 (介護職員による個別ケア・個別支援会議) ②計画・リーサブ会議 (計画作成と介護職員による事業者間連携システム・ケアプラン・モニタリング・評価等会議) ③多職種連携会議 (計画作成・NS・PT 又は OT・栄養・介護による多職種間連携支援会議) ④小規模合同会議 (法人・施設間事項報告、連絡、相談等の伝達・事業所のあり方【企画・内容・体制・システム等】・ご意見、苦情等・外部研修活動等会議) と再設定し、日々の意見は主任・リーダー・サブへ伝達し内容により分類(①～③)して上記の会議にて取り上げ意見交換していき④の会議にて報告し統一した対応をおこなえるシステムを再構築する。
前回の改善計画に対する取組み結果
介護職員間で意見交換行い情報をまとめ、各会議で相談、検討している。その内容は会議録や申し送り・LINEWORKS で発信し職員間で共有して統一した対応を行なえている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	6	10	0	0	16
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	7	9	0	0	16
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	7	8	1	0	16
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	5	11	0	0	16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者・家族・介護者からの意見や苦情は職員間で対応を検討してその情報を共有し、改善や再発防止に取り組む運営に反映できる。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
新型コロナウイルス流行により、対面での会議開催が難しく、地域の方からの意見など情報収集が不足している状態であり情報収集の新たな手段を模索中となっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
書面やオンライン等を活用して地域の方々から情報を得て、新生活様式における新たな地域のと取り組む方法を考え、新しい形の協働した取組みをおこなう。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月23日(16:30~17:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 日高, 大竹, 花島, 玉井, 吉村, 上園, 奥村
保坂, 屋上, 樋口, 松本, 仙洞田, 小倉, 荘司, 三森

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	12人	0人	0人	15人

前回の改善計画
地域連絡会や研修に参加した職員はその内容を会議の場や回覧で報告し情報を共有する。知識や技術向上について研修のみでなくわからない点や不安な点はリーダーに伝え情報を得てスキルアップにつなげる。

前回の改善計画に対する取組み結果
感染症予防に配慮した中で、オンライン等工夫して研修に参加し、参加した職員はその内容を会議やLINEWORKS を活用して情報を共有するシステムを構築することにより全体的にスキルアップにつなげられた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	9	6	0	0	15
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	5	10	0	0	15
③	地域連絡会に参加していますか	3	12	0	0	15
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	6	9	0	0	15

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
感染症対策、勤務調整をして研修に参加しLINEWORKS を活用して情報を共有できており、その情報は現場で活かされ全体のスキルアップにつながっている。コロナ対策等も含めリスクマネジメントについて多職種が関わりながら取り組んでいる。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
今年は新型コロナウイルスの関係から運営推進会議の開催が見送られている形となり、地域の方々との関わりが例年と比べ著しく少なく電話でのやり取りなど今後の地域社会との関わり方について考える必要がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
ブルーオーシャン・LINEWORK を活用して情報共有し、職員一人一人が常にリスクマネジメントやスキルアップの意識を持ち、マンパワー力の向上を目指す。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月23日(16:30~17:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 日高, 大竹, 花島, 玉井, 吉村, 上園, 奥村
保坂, 屋上, 樋口, 松本, 仙洞田, 小倉, 荘司, 三森

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	9人	0人	0人	15人

前回の改善計画	ご利用者さんの意向を聞き、職員はゆとりを持って支援をしていく。個人情報の取り扱い・鍵・話す場所内容への配慮を徹底していく共に新人職員が入職した際は周知を図っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	個人情報や鍵の取り扱い、申し送り等の話す内容などプライバシーの保護はルールを定めて、新入職員も含めて各職員が意識を持って配慮できた。利用者の意向の聞き取りを持った支援ができるよう職員間で声をかけ合い意識づけができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	10	5			15
②	虐待は行われていない	14	1			15
③	プライバシーが守られている	11	4			15
④	必要な方に成年後見制度を活用している	10	5			15
⑤	適正な個人情報の管理ができている	8	7			15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者の意向に沿い、丁寧に適正な介護支援ができており、身体拘束や虐待はしていない。 個人情報やプライバシーは適正に鍵のかかる場所に保管され鍵などの取り扱いも緊張感をもっておこなっている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること その時の状況や時間帯によりゆとりを持って傾聴して支援できる時と傾聴し支援へのアプローチにかかる時間にムラがある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 個人情報の取り扱い、鍵の管理はルールを徹底し、職員間の情報共有・伝達はメモやLINEWORKSを活用したり、話す場所に配慮してプライバシーの保護に注意をはらっていく共に、IOT・IOC化を進め個々の職員の利用者への心理的支援の時間を増やしていく。
---------------	---

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 翠耀会	代表者	理事長 津川恵美子	法人・ 事業所 の特徴	顔なじみのスタッフが、ご利用者やその家族等のニーズに適宜対応する為に必要なサービスを柔軟に組み合わせて提供する事により、ご利用者様の地域生活を総合的に支援し、安心を提供いたします。『インフォーマルなサポートの拠点を目指すこと』『介護が中重度になっても”自分らしい生活の実現”という思いに応える』べく、多職種やサテライトとの協働により、きめ細やかな対応・支援へ取り組んでいきます。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 グリーンヒル八千代台	管理者	日高和枝		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	2人	4人	0人	1人	1人	1人	2人	2人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する 取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	日々の中で、意見の吸い上げを行ない、各定例会議で、支援や事業所の在り方<体制やシステム等>を話し合い統一を図る。 LINEWORKSで即時の情報に意識を持つ。	LINEWORKSでの情報共有以外では、体制やシステム等について疑問や不安な点があった場合は、相談や話し合いの場を設け、同じ方向性を持って支援できるように取り組んでいる。	現実的に取り組み・評価できる計画を策定されていて、且つ職員の皆さんもどう行動すべきか考えやすくなっていた結果がしっかりと現れていると思います。	データを活用したPDCAサイクルの推進とケアの質の向上を図る取り組みを推進しケアプランに取り入れたサービスを提供していく。日々の状況や状態に即時に対応できるよう、LINEWORKSと対話を有効に使い、統一ケアに取り組む。
B. 事業所の しつらえ・環境	ご利用者の作品展示の継続と季節感のある環境整備を心掛ける。靴の履き替えは、床面の案内表示他に自動ドアにも案内を増やす。場所の狭さもあるので、ご利用者誘導時も安全に留意する。	ご利用者の作品展示は定期的に行なうと共に昨秋には勝田台ステーションギャラリーにも展示。玄関については床面の表示に加え、このコロナ禍において職員が玄関先から説明をしながらご案内する事が増え衛生面でも安全面でも注意を向けられている。	コロナ禍で大変な中、事業所からコロナが出ず、利用者の為のしっかりとした環境を保てた事は素晴らしいと感じた。季節ごとに工夫された案内、自動扉が開くのを楽しみにして訪問しています。感染予防対策も入念にされていると思います。	季節感のある環境整備、行事の案内や作品の展示継続を心がける。 感染予防のため、入館後の手洗い・消毒のご案内・誘導、物品整備にも消毒等の感染症対策の徹底に努める。
C. 事業所と地域の かかわり	地域行事及び施設行事への参加・交流の継続を図りながら、ご利用者が地域で暮らししていく為、地域資源などの情報をいただき支援につなげる共に、地域の方々へ認知症の人や家族を温かく見守っていただけるように啓発活動をおこなっていく。	地域の方々及びご利用者が利用するお店などと情報を共有し、地域の中での暮らしを共に支えていけるよう、交流を継続してきました。	職員の方の人柄から気がねなく相談(雑談)が来ています、コロナ禍で例年では参加できるような行事も中止となり、施設としても評価し難い部分もあったと思います。今後また施設内の企画等のご報告を伺えるのが楽しみです	地域・施設の交流継続をしながら、地域の方々にも認知症の方や家族を温かく見守って頂けるよう、啓発活動や情報交換を行なっていく。ふらっとホームに関しては、支え合いの輪の取り組みとして、社協と共に考え、出来得る事を展開・開催していく。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取り組み	これまで通り地域行事に積極的に参加し、地域の方々との交流を行なっていく。 また、「地域で支える支援」として、福祉教育などの活動にも参加できるよう社会福祉協議会との連携・参画していく。	地域行事については、参加が難しかったですが、福祉教育活動への参加は、社会福祉協議会と連携を取りながら数回参加させていただきました。	地域行事に大勢の職員が参加してください、無理難題に向き合って迅速に対応している コロナの為色々な行事ができず残念。感染症予防対策を講じながらの実践は非常に課題が多いと思います。	直接の地域行事参加は難しい場合でも社会福祉協議会との連携を継続し、「地域で支える支援」に向けて、コミュニケーションを図り、情報共有を図って取り組んでいく。
E. 運営推進会議を 活かした取り組み	自治会や地域包括支援センター、社会福祉協議会等と連携を取りながら地域の課題を見つけ出し、解決に向けての取り組みを一緒に考えて行なうことで、地域の支え合いの輪が広がっていけるように今後も共生cafeふらっとホーム等を行なっていく。	ふらっとホームは、コロナの影響で休止になっていますが、自治会・地域包括支援センター・社会福祉協議会等と連携を取りながら地域での課題に取り組み、情報交換・共有を行なっています。	コロナ禍で残念ながら開催できなかったことが多かったので今後また地域の皆さんとも情報共有できると良いと思います。	地域での課題や取り組みを自治会や地域包括支援センター、社会福祉協議会等と連携を取りながら共有していく。 八千代市介護保険事業所協議会看護小規模部会と協働し互いに運営推進会議に参画して地域活動にいかしていく。
F. 事業所の 防災・災害対策	日頃から防災について、地域消防団・自治会等と取り組み意識を共有し、地域消防訓練、施設の防災訓練へ参加していくと共に、防災・減災について地域で物資や知識を共有してお互いに協力し合えるように地域の訓練にも引き続き参加し、協力体制を整えていきたい。	防災訓練は中止になってしまいましたが、通報システムの確認や防災設備の確認等を日頃から行なっていました。 防災寺子屋にも参加し、地域の方々と防災について共有を図ることもできました。	学校で開催されている防災寺子屋ではいつも協力して下さり、無くてはならない存在です、コロナ禍で開催が難しい状態かと思えます、地域でDIGすると福祉避難所としてグリーンヒル八千代台が参加者の方々からも挙がってきます。包括はもちろん、地域の皆さんも頼りにしています。	福祉避難所として、防災についての取り組み、防災計画・防災訓練等を通して共有して頂けるように、共に地域で防災・減災について協力し合えるようにしていきたい。